

体験された
方の声



FACE DUO 認知症ケア支援VR

認知症介護者の方から見た認知症ケア支援VR

実生活に近い シーンで学べる

介護するご家族

東京都
台東区在住
Y様



やはりセミナーに参加したり、冊子や本などを读んだりだと、頭では分かっていても、なかなか実生活に落とし込めなかったりします。私の母は結構興奮するタイプで、何か気に入らないことがあると、ワアって、エキサイトしてしまうところがあるので、今回体験したシーンは自分の経験と重なるところがあり、実生活に近いので、とても参考になりました。



VRならではの、の良さ

最初VRじゃなくてもいいのでは?と思いました。しかし、体験してみて、自分だけの世界に入り込める、それにより自身の普段の行動を冷静に振り返ることができるっていうのは利点だと思いました。また、臨場感があり、体験するシーンに入り込めるところもVRのメリットではないかと感じました。



認知症の方と介護者の 両方の視点の 体験により気づく

親（認知症の方）の視点と介護する側の視点の両方を見ると、同じシチュエーションでも、やはり見方が違うと立場によって感じ方も違ってくるというのが理解できました。その気づきがあったうえで、「きっかけ」があって、「気持ち」、「行動」に繋がる、とブレイクダウンした解説が入るので、ケアの方法を変えるための考え方が整理できました。

親への想い

介護について学んだことを、私から家族に話をするのですが、聞いたけども実体験がないから、彼らは「うん、そうなんだね」、くらいで終わっちゃうと思うんです。このプログラムであれば、家族揃って体験できるので、共通の理解が進み、より介護がうまくいくんじゃないかなと思います。母は一人だけポツンと取り残されたような状況になりがちなんです。そこをうまくこっちから楽しい話を引き出して、母もみんなとの会話に入っていけるような、そういう状況が作れたらいいなと考えています。



FACEDUOに 対する期待

FACEDUOは分かり易いケーススタディだと思います。介護を不安に思っているご家族がたくさんいると聞いているので、是非体験されると良いと思います。認知症の共生社会について、どうしたらみんなが少しでもハッピーになれるのかなって探していくしかないと思いますが、このFACEDUOが役に立つのではないかと考えます。

詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!

2024年12月作成
FD2412017
(1047902)HK

本システムは医療機器ではありません。本システムはSSTの実施（トレーニング）を目的としたVRを用いたSST支援プログラムです。